

# ● 埼玉教育 第4号 令和3年11月 目次 ●

## ◆目次

● 巻頭言①			
○ 学びの極意		歌手・俳優 武田 鉄矢	2
● 巻頭言②			
○ 高校教育改革の要諦は「世界観」の転換にあり		大正大学 地域創生学部 教授 浦崎 太郎	4
● 県教委 施策事業の紹介			
○ 学校におけるヤングケアラーの支援		人権教育課 企画・児童虐待対応支援担当 指導主事 早野 裕之	6
○ 「令和の日本型学校教育」を目指して		教育局県立学校部 ICT教育推進課 ICT教育指導担当	8
● 教育法規・情報			
○ 権利衝突の場としての学校 一価値観の多様化を受けてー		日本女子大学 教授 坂田 仰	10
● 特集：社会の変化に対応した高校教育の推進			
○ 知性と教養、逞しさを備えたグローバルリーダーの育成		県立浦和第一女子高等学校 校長 高岡 豊	12
○ おもしろ満載 狭工の課研			
○ ー地域産業を担う技術者を育てる狭山工業高校の教育ー		県立狭山工業高等学校 校長 久住 毅	16
○ 新型コロナウイルス禍における工業高校ならではの「主体的・対話的で深い学び」			
○ ～「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて～		県立大宮工業高等学校 校長 清水 雅己	20
● 指導方向上のための実践論文			
○ 高等学校における通級による指導の実践報告		県立八潮南高等学校 教諭 鈴木 久就	24
○ 美術教育で育む「伝える力」		県立大宮南高等学校 教諭 大芦 夏子	26
○ 定期考査毎における自己評価ルーブリックから、1年間の学びの変容と変質をみとる			
○ ～質の高い授業の創造を目指して～		県立川越女子高等学校 教諭 桑原 博俊	28
● 教育課題の解決へ向けて			
○ SDG s 達成に向けた「共感力」を育む「詩」を活用した世界史授業実践			
○ ～パレスチナ・ガザ地区との交流を例に～		県立鳩ヶ谷高等学校 教諭 吉田 大祐	30
○ ポスト・GIGA、ネクスト・コロナの学びのデザイン		(株)情報通信総合研究所 特別研究員 平井聡一郎	32
○ 丹荘小に通う児童、勤務する教職員のための働き方改革		神川町立丹荘小学校 校長 江森 貴文	34
○ 生徒も教員も笑顔あふれる学校 「カエル会議」で働き方改革！		ふじみ野市立大井中学校 校長 榎本 一夫	35
● 長期研修報告			
○ 望ましい人間関係をつくる生徒指導			
○ ー学校課題の解決を目指したよりよいQUの活用の仕方についてー		本庄市立金屋小学校 教諭 久保宗一郎	36
● 教職員からのメッセージ			
○ この状況だからこそ学べたこと		小川町立小川小学校 栄養教諭 加藤 早	39
○ 教員生活での学び ～学校に学ぶ、人に学ぶ～		県立杉戸高等学校 教諭 島田 親亨	40
● 社会科見学施設紹介			
○ 社会科見学は本庄早稲田の杜ミュージアムへ		本庄早稲田の杜ミュージアム 学芸員 松橋 由希	41
● 管理職の魅力発信			
○ 教頭になって見えたもの		県立川口高等学校 教頭 白井里佳子	42
● 教育相談			
○ 教育相談の現場から / 教職員相談道しるべ		総合教育センター 指導相談担当 総合教育センター 教職員研修担当 中山 幸男	43
● 学校紹介			
○ 新設小学校紹介 「子どもたちが夢と希望を持ち、生き生きと学ぶ学校」		久喜市立江面小学校 校長 朝武 紀雄	44
○ 100年の歴史と伝統の「継承」とさらなる「発展」を目指して		県立川越総合高等学校 校長 服部 修	45
● 子供たちに伝えたい埼玉の偉人			
○ 安岡正篤の生き方		公益財団法人 郷学研修所・安岡正篤記念館 理事長 安岡 定子	46
● 教育長からのメッセージ			
○ 笑顔は太陽、すべては子供たちのために		川口市教育委員会 教育長 茂呂 修平	47
● コラム			
○ 埼玉教育の強さ		県立春日部高等学校 校長 坂上 節	48

お詫び訂正 令和3年度「埼玉教育」第3号において、下記の通り誤りがありましたので訂正しお詫び申し上げます。  
 P.24 左段23行目 (誤)①知能及び技能→(正)①知識及び技能